

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
------	------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	中田
事前相談日時	令和6年5月1日 11時から12時
申請可能と言わされた日時	令和6年5月1日 12時

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	文化財保護課
事前相談日時	令和6年5月13日9時30分から10時40分
申請可能と言わされた日時	令和6年5月13日10時40分

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	<input type="radio"/>
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	<input type="radio"/>
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	<input type="radio"/>
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	<input type="radio"/>

【3】申請者について

団体の名称	金沢城・兼六園研究会
団体名称のフリガナ	カナザワジヨウ・ケンロクエンケンキュウカイ
代表者	木下一夫
役職名	会長
氏名（フリガナ）	木下一夫（キノシタカズオ）
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	計 112 名
(内訳)	(1) 市内関係者 86 名 (2) その他 26 名
設立年月日	平成 3 年 6 月 1 日 (設立 34 年目)
設立の目的	当研究会は、「金沢城・兼六園を愛し、その魅力を学び・伝えること」を目的にした市民ボランティア団体として平成3年6月設立された。会員相互の親睦を図り、金沢城・兼六園等文化財に関する事項の学習と普及の事業を行うことによって、地域・生活文化の振興に貢献する活動を行っている。
活動概要と団体のPR	<p>① 学びの活動 令和5年度は外部講師を招いての講演会2回、観察会1回、愛本橋と十二貫野用水(富山県)への研修旅行、西田家庭園散策とお抹茶の会を実施。会員が講師を務めるきくざくら学習会を4回、会員による研究発表会を1回実施した。</p> <p>② 伝える活動 百万石まちなかめぐりさくら・もみじ、高砂大学校大学院講座、金沢城・兼六園 四季の花巡りツアー 春の花、こどもふるさと博士講座、親子体験ツアー兼六園の「石の物語」、城と庭の探究講座「金沢城大学」に講師・ガイドを派遣した。</p> <p>③ 広報活動 会報「城と庭の研究会便り」を年6回、偶数月に発行。令和6年8月に第200号発行を予定している。研究発表文集「きくざくら」令和6年5月11日に第33号を発行した。</p> <p>④ グループ活動 兼六園をもっと知る会、お城研究サークル、各期の会 32期、33期、34期</p>
HP,SNSのURL	
担当者連絡先	
役職名	総務担当幹事
氏名（フリガナ）	三宅尚彦（ミヤケナオヒコ）
住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
携帯電話番号	

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者」部分のみです。

【4】企画内容について

提案事業・テーマ	(3) 人づくり
企画のタイトル	特別名勝 兼六園「子どもガイドブック」の改訂版・電子版の作成と市内小中学校等へ贈呈
事業効果	※特に事業の対象者が具体的にどうなるかを以下に記入してください。
現状の地域課題	「未来を拓く世界の共創文化都市」を目指す金沢市において、すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践（金沢市新たなまちづくり指針より）の具体化が急務となっている。
事業の実施により期待される効果	当研究会は、小中学生を主な対象とした 特別名勝 兼六園 「子どもガイドブック」～兼六園なんでも博士になろう～を平成30年2月に発行し、金沢市内の小学校55校に545冊、中学校24校に170冊、市内図書館に150冊寄贈した。今回、子どもたちがもっと「兼六園なんでも博士」になれるよう改訂版及び電子版（「令和6年度版」）の発行を企画した。これにより子どもたちが兼六園をもっと知り、もっと好きになってほしい、これが私たちの想いである。
事業の概要	わが町の財産である兼六園の魅力を子どもたちにもっと知ってもらい、その素晴らしさを全ての子どもたちに伝えていく。さらに今回の事業では障害のある子どもたちへ伝えていく方法も考えていきたい。そして将来的には「金沢城の子どもガイドブック」につなげていきたい。
具体的な実施内容 ※「誰が」「何を」「いつ」「どのくらい」「どこで」「どのように」実施するのかを具体的に記入してください。	<p>① 令和6年6月 正副会長をはじめ役員を中心に、10名程度の「改訂版」編集委員会を立ち上げる。</p> <p>② 同年6月～8月 編集委員会で「平成30年版」の読合せ、内容の検討を行う。</p> <p>③ 同年7月～10月 「改訂版」の原稿作成、写真の撮影・収集を行う。</p> <p>④ 同年9月～12月 「改訂版」原稿の読合せ、掲載する写真の検討を行い、原稿編集作業を完了させる。</p> <p>⑤ 令和6年12月～令和7年1月 石川県金沢城・兼六園管理事務所に「改訂版」の内容の確認を依頼する。併せて印刷業者に「改訂版」の見積もりを依頼する。</p> <p>⑥ 令和7年1月～2月 「改訂版」を最終確認の上、印刷業者に発注する。</p> <p>⑦ 同年2月～3月 「改訂版」が完成、当会に引き渡される。令和6年度内に金沢市内の小中学校・特別支援学校等へ配布・贈呈する。</p> <p>(*編集委員会は毎月定例の役員会終了後、1時間から2時間程度、金沢城内旧第六旅団司令部会議室にて開催することを基本とする。)</p>

企画内容にかかる注意事項

※単発的なイベントで終わるものではなく、通年の活動や今後に繋がる継続性を考慮した事業を提案してください。

※実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・参加見込数）など出来るだけ具体的に記載ください。

別途資料を添付する場合は、A4サイズでお願いします。

※既存の事業で応募する場合、工夫や改善した点を明確にしてください。

【5】事業収支予算書

委託費 300,000 円

収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
委託料	300,000	金沢市より
自己資金	326,000	当会活動費より
計 【A】	626000	

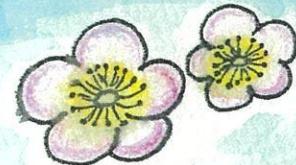
支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
印刷製本費	616,000	「令6版」616円× <u>1,000冊</u> 作成 (金沢市内の小学校54校、中学校25校、
		特別支援学校7校に各5冊ずつ贈呈 計 <u>430冊</u>
		金沢市内図書館 5館 <u>25冊</u> 、石川県内図書館39館
		<u>78冊</u> 、管理事務所 <u>10冊</u> 、会員 <u>112冊</u> 総計 <u>655冊</u>
通信運搬費	10,000	郵送料5,000円、ガソリン代5,000円
計 【B】	626000	

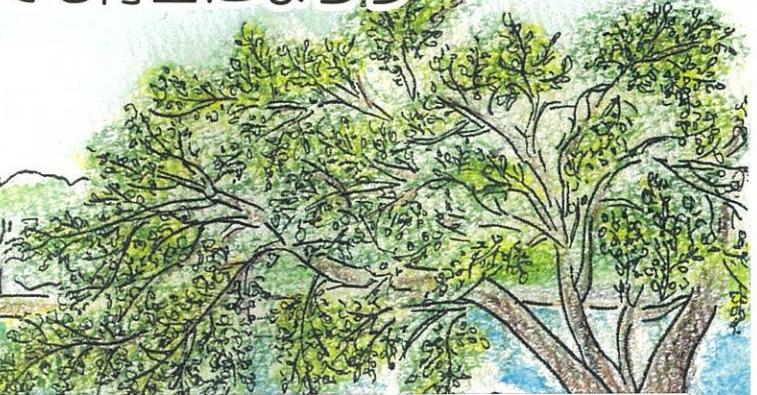
【A】 収入合計と 【B】 支出合計は一致（同額）させてください。

特別名勝 兼六園



こども ガイドブック

～兼六園なんでも博士になろう～



金沢城・兼六園研究会
(大名庭園交流協議会金沢事務局)

総務担当幹事
三宅 尚彦

〒 920-0937 石川県金沢市丸の内 1-1
石川県金沢城・兼六園管理事務所気付
携帯 090-1633-7391
naohikom37@gmail.com



金沢城・兼六園研究会
(兼六園をもっと知る会)

総務担当幹事
吉谷 登志子

〒 920-0937 石川県金沢市丸の内 1-1
石川県金沢城・兼六園管理事務所気付
携帯 090-5688-7902
y.toshi.cha.1956@gmail.com

金沢城・兼六園研究会

みなさん、こんにちは！

けんろくえん
兼六園に行ったことがありますか？ 行った人はどのように感じましたか？

そして、兼六園を好きになりましたか？

この本には兼六園についてみなさんの知っていることや知らないこと、兼六園を楽しむためのヒントがたくさんあります。兼六園は知れば知るほど樂しくなるお庭です。お気に入りの場所も増えますよ。

この本はいろいろな使い方が出来ます。読み物として初めから終わりまで読んでもよし、行きたいところ・好きなところを調べる学習に使ってもし、加賀藩の歴史の勉強に使ってもし等々、皆さんの学習やガイドのお供にして下さい。

この本を読んで、“兼六園なんでも博士”になってください！！そして兼六園をもっともっと好きになって、お友だちやお父さんやお母さんにも教えてあげてくださいね！

この本の案内人

さあみんな、今からわしと奥方の
珠姫と一緒に兼六園を散歩しよう。

利常さん



珠姫さん

どの
殿と兼六園をお散歩出来るのね。
わくわくするわ。

れきらいはんしゆ
前田家の歴代藩主は次の通りだよ。

初代	2代	3代	4代	5代	6代	7代	8代	9代	10代	11代	12代	13代	14代
としいえ 利家	としなが 利長	としつね 利常	みつたか 光高	つなのり 綱紀	よしのり 吉徳	むねとき 宗辰	しげひろ 重熙	しげのぶ 重靖	しげみち 重教	はるなが 治脩	なりなが 斉広	なりやす 斉泰	よしやす 慶寧

最後に「兼六園おさらいクイズ」があるので、挑戦してみてくださいね。

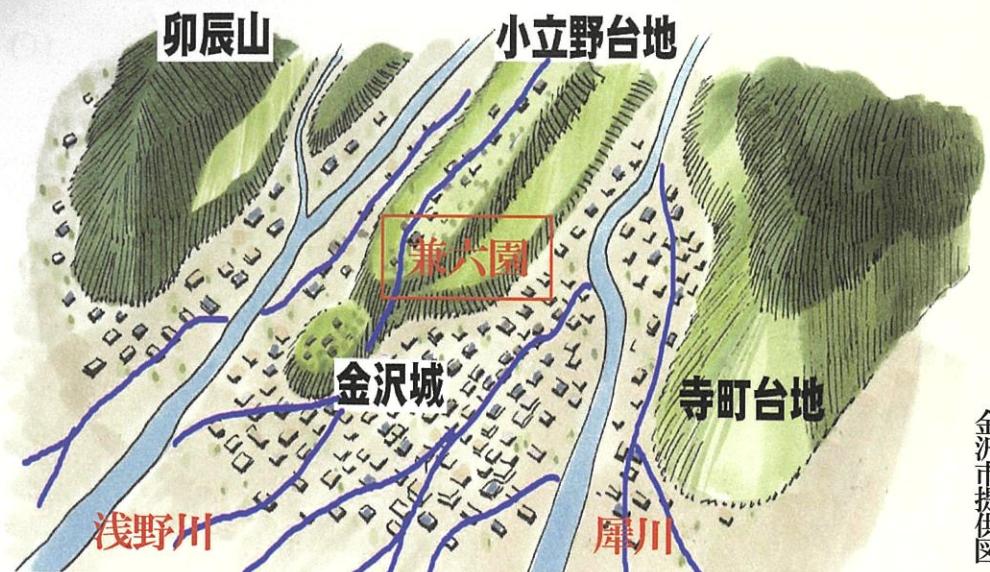
もくじ

兼六園ってどんなところ	2
兼六園のすごいところ	4
兼六園ガイドマップ	10
兼六園の見どころ	12
蓮池庭エリア	12
千歳台エリア	18
長谷池周辺エリアとその周辺	32
樹木・花・野鳥	38
兼六園の歴史	46
兼六園・歴史年表	51
働く人たち	52
主な定例行事	55
おさらいクイズ	56

兼六園はどんなところ

街の中心にある緑豊かな大名庭園

金沢は、江戸時代前田家が治めてきた加賀藩の城下町でした。国を治めるための金沢城を小立野台地（河岸段丘）の突端に造り、周りに家臣や商人を住ませ、お寺も配置しました。下は金沢の地形イメージ図です。



江戸時代、大名が江戸の屋敷や国元の城下町に造ったお庭を大名庭園といいます。兼六園は、町の中心にある金沢城の外庭として、加賀藩の平和と繁栄への願いを込めて、歴代藩主によって造られました。約 11.4 ha (34,600 坪→東京ドームの約2.5倍) もあります。その広大な敷地に辰巳用水という流れを取り込み、起伏に富んだ地形を利用して山や海を表現しました。だから、園内を歩きながら様々な景色を楽しめる緑豊かな回遊式庭園になっているのです。

3代目を継いだわしの頃は、小立野台地の奥から攻められた場合に備えて、兼六園の場所には、7人の重臣の屋敷があったんだよ。



兼六園の位置は、とっても重要なね。

さらに、兼六園には藩主の思い（長寿や藩の永遠の繁栄を願う）が伝わる場所がたくさんあります。例えば、最初に造られた瓢池や江戸時代後半に造られた霞ヶ池の島は、海にうかる神仙島を表しました。不老長寿の薬を持った仙人が住む島だという中国の故事（昔から伝わっているいわれ）を参考にしたもので、そのほかにも、世継ぎの誕生を願う陰陽石（鶴鳩島の中 29 頁参照）や、兼六園を守る動物の形をした三名石（三要石 31 頁参照）などがあります。

人々が憩い集うわがまちの宝



「兼六園絵巻」(石川県立歴史博物館蔵)

徽軒灯籠の脚の長さは同じだったのです。

江戸時代が終わって明治になると、兼六園は藩主の持ち物から石川県の管理となりました。お殿様しか入れなかつた大名庭園が、県民誰もが入れる公園になります。

みんなが楽しめる場にな

ったのはよかったです、管理は思うようにならず、お庭はずいぶん荒れました。徽軒灯籠の脚が一部折られてしまったのは、そのころのことです。

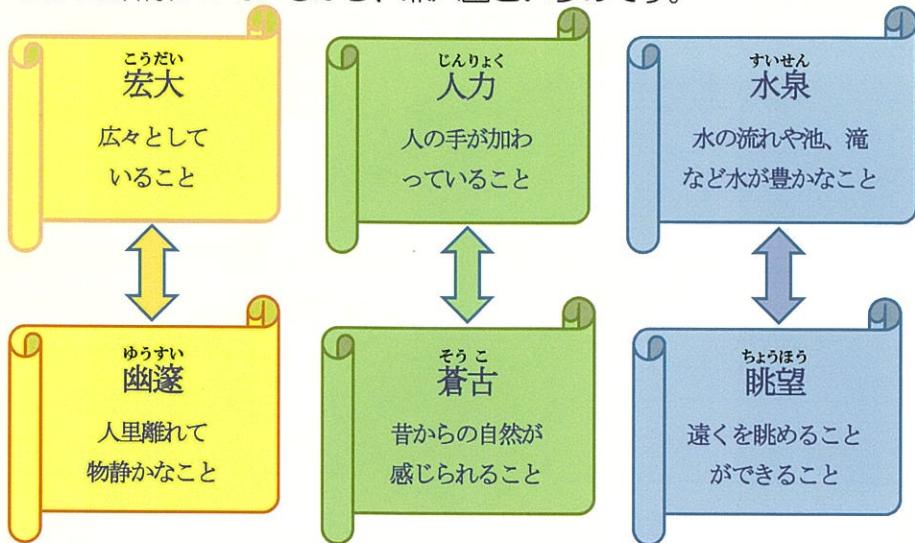
大正になって、兼六園を元の姿で保存する努力をして、国の「名勝」指定を受けました。昭和になって法律を制定すると共に、たくさんの人々が議論して昭和51年から入園料を取ることになり、庭園の保護がしっかり行われるようになりました。それら兼六園を愛する人々の努力の結果、1985（昭和60）年ようやく国の「特別名勝」に指定され、日本三名園（8 頁参照）の名にふさわしい大名庭園として国内外から人気を集め、存在感を放っているのです。

兼六園は街の中心にある緑豊かなお庭で、現在の私たちにとってかけがえのない文化財としての庭園であるとともに、県民市民の憩いの場です。まちの人々は四季折々の変化を楽しんでいます。その魅力は、兼六園を愛する人たちの長い年月の努力と、専属庭師をはじめ庭園管理を支える多くの人たちの日々の手入れのおかげだということを忘れないでおきましょう。

兼六園のすごいところ

ろく しょう か 六勝を兼ね備えたお庭

兼六園と何気なく口にしているけれど、兼六園の六って何が六つあるか、知っていますか。お庭に大切な六つの勝れたところ、でも同時に成り立ちにくいところが全部備わっているから、兼六園というのです。



この同色の優れたどこのを、一つの庭に
同時に造るのは、とても難しいのです。

兼六園という名が付けられたのは、12代藩主斉広の時代です。中国の『洛陽名園記』という書物の中に書かれている理想の名園「湖園」という庭に似ているからだそうです。でも、だれが名付けたかはわかりません。その名の揮毫（筆で書や絵画をかくこと）を元老中（幕府の重職）であった松平定信にお願いし、できあがったのが写真の扁額です。昔は、お庭の門前に掲げられていました。今は、

石川県伝統産業工芸館の階段の途中に掲げられています。

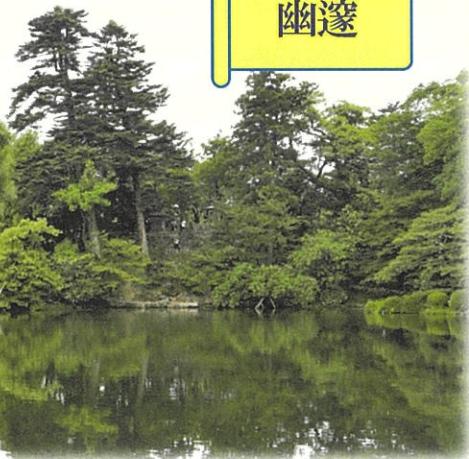


立派な額を
造っていた
だいたわね。

石川県金沢城・兼六園管理事務所では、六勝を感じる一つの代表的な景観として次ページの場所を紹介しています。

六勝ってどこ？

石川県金沢城・兼六園管理事務所パンフレットより



一番大きな霞ヶ池と、その後ろにある栄螺山のうっそうとした霧囲気を、**宏大・幽邃**と紹介しています。
瓢池の中に流れ込む翠滝とその周辺の木々の対比を、**人力・蒼古**ととらえています。

眺望・水泉は、卯辰山など
が眺められる眺望台と、その
前の曲水を取り上げ、他の庭
にはまねのできない兼六園
最大の特徴であると記して
います。

みなさんは、その良さをゆ
っくり味わいながら歩いて
みて下さいね。



樹木の数は八千本
以上もあるのです。

兼六園



長い歴史と豊かな緑を持つ特別名勝のお庭が街の真ん中にあり、すぐ近くには現代建築を代表する21世紀美術館があります。私たちは、古今の優れた文化に日常的に接することが出来る街に住んでいるのですね。

日本三名園とは、水戸市の偕楽園
岡山市の後楽園、そして、金沢市の
兼六園の総称です。三つとも優れた
景觀を持つ宏大な大名庭園です。

日本三名園



1904(明治37)年の『尋常小学校読本』で地方の名高い公園としてこの三つの公園等が取り上げられました。さらに、1910年の『高等小学校教科書卷一』で「日本ノ三公園」と紹介されるようになりました。(長山直治『兼六園を読み解く』参照)

いつ来ても美しいお庭

とのさま
大名庭園はお殿様のお庭です。その時々のお殿様の美的なセンスを生かして、より美しい庭にと
かがはん
作り直してきたのです。特に加賀藩前田家は、徳川幕府の家来の中で石高が一番の大名でした。武力や法の力で支配するのは幕府です。幕府の次に大きな加賀藩は、文化で一番になろうとして、能・茶道・伝統工芸・庭園などに力を入れてきました。その文化の蓄積によって、兼六園は、様々なかが
な場所から勝れた眺めを味わえる、おもむき
ちせんかいゆうしき
趣深い池泉回遊式庭園に育てられてきました。さらに、明治以降も「兼六園」という名前にふさわしい庭になるよう努力がなされ、県民市民が四季を楽しめる心和むお庭になったのです。



兼六園

ガイドマップ

それでは皆さん！
兼六園の見どころを
歩いてみましよう！

まずは

蓮池庭エリア

(P12～P17)

- ① 蓮池門跡
- ② 瓢池
- ③ 海石塔
- ④ 翠滝
- ⑤ 夕顔亭
- ⑥ 黄門橋
- ⑦ 噴水

から

次は

千歳台エリア

(P18～P31)

- ⑧ 霞ヶ池
- ⑨ 微軒灯籠
- ⑩ 蓬萊島
- ⑪ 唐崎松
- ⑫ 內橋亭
- ⑬ 栄螺山・三重石塔
- ⑭ 月見橋・月見灯籠・玩月松
- ⑮ 眺望台
- ⑯ 雁行橋
- ⑰ 七福神山
- ⑱ 雪見灯籠・雪見橋
- ⑲ 地蔵堂と竹沢御殿跡
- ⑳ 明治紀念之標



16 雁行橋

17 七福神山

18 雪見灯籠・雪見橋

19 地蔵堂と竹沢御殿跡

20 明治紀念之標

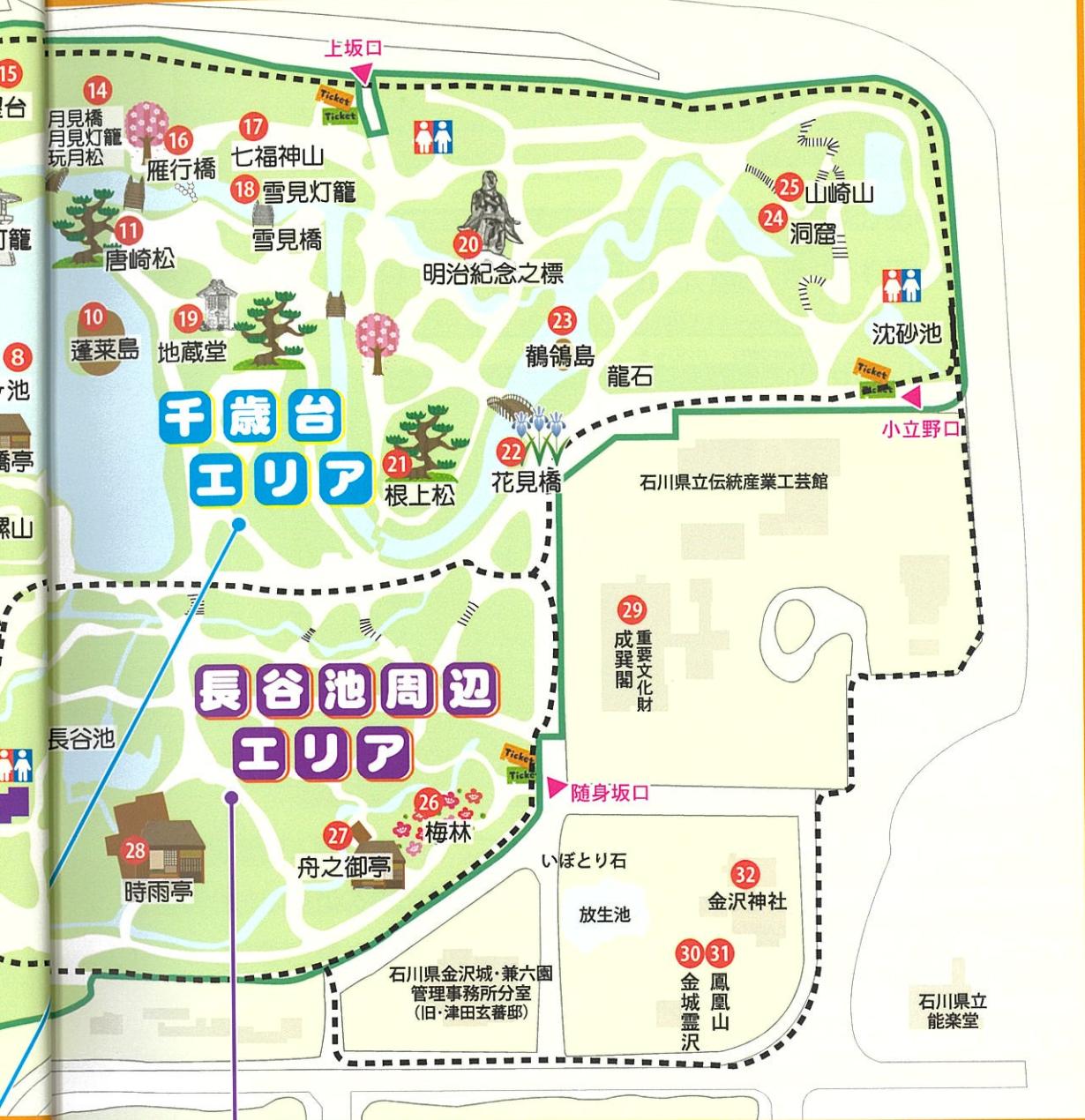
21 根上松

22 花見橋

23 鶴鴎島

24 洞窟

25 山崎山



長谷池周辺エリア (P32 ~ P37) とその周辺

26 梅林

27 舟之御亭

28 時雨亭・長谷池

29 成巽閣

30 金城靈沢

31 凤凰山

32 金沢神社

兼六園の歴史

加賀藩ってどんな藩？

庭づくり以前

よく加賀百万石といいますね。それは、前田家という大名の支配地（2代利長から）である加賀・能登・越中の三つの国の石高のことです。加賀藩とは17世紀初めから幕末まで前田家が代々治めた藩のことです。藩祖前田利家が賤ヶ岳の戦いで豊臣秀吉方の勝利に貢献したほうびとして金沢城を与えられ、1583（天正11）年に入城（百万石まつりはその記念イベント）したときを元としています。

2代藩主利長・3代藩主利常の頃は幕府に謀反の疑いをかけられ、対策としてまつ（利家の奥さんで利長のお母さん）が江戸へ人質に行ったり、将軍の娘珠姫を



お嫁さん（利常の）にもらったり、利常が鼻毛を伸ばしてバカ殿のまねをしたりするなど、苦労が絶えませんでした。そこで、文化で一番になろうという方針を決めたのが、利常です。利常は、前田家の先祖を学

問の神様の菅原道真であると幕府に届け出ました。そして、能・茶道・伝統工芸・庭園などに力を入れていったのです。その精神が受け継がれ、幕府との関係が良好になったのが、5代藩主綱紀のときでした。

兼六園の始まりは？

5代藩主綱紀時代

兼六園のある場所は、小立野台地から敵に攻められたとき守りの要となる位置にあたります。だから、お堀やお寺があつたり重臣の屋敷があつたりと、時代に応じて使われ方も変化してきました。

庭造りの始まりは綱紀時代の蓮池庭（12頁参照）からで、庭造りの教科書『作庭記』（平安時代の本）を



前田家家紋 剣梅鉢



前田育徳会蔵



参考にしたようです。三つの島（今は夕顔亭のところが地続きとなっているが、昔は島だった）を造って不老長寿を願う三神仙島を表し、藩の永遠の繁栄を願うという藩主の思いを込めたそうです。

今の茶店街の場所は、綱紀時代から幕末まで馬場でした。利常の奥方

珠姫が江戸からお嫁に来たときの家来たちの屋敷だったので、看板に旧江戸町と書かれているのです。

綱紀は「百工比照」（重要文化財）という現代の工芸カタログのようなものを残した藩主として、また学問大名として有名です。蓮池御亭という別荘を造り、姫を伴って紅葉見物をしたり、家臣を招待したりと、お庭を楽しんだそうです。

お庭の改修は？

11代藩主治脩時代

前田家の御家騒動や大火などがあってしばらく荒れていたお庭を、本格的に改修したのが治脩です。治脩は6代藩主吉徳の10男です。一度お坊さんになったのですが、兄たちが次々と若死にしたので藩主になった人です。

治脩が改修したのは蓮池庭の風景です。特に、翠滝の改修に力を入れ（14頁）



働く人たち

広い面積の兼六園をいつも美しく保つために、多くの人々が働いています。石川県金沢城・兼六園管理事務所の専属の庭師が中心となり、作業員や植木屋などの皆さんの協力のもと、樹木の剪定をはじめ病害虫の防除、園内や曲水の清掃などの維持管理を行っています。そのおかげで、私たちは気持ちよく兼六園を楽しむことができるのであります。一年を通してどんな仕事をしているのか、ちょっとのぞいてみましょう。



除草、清掃

春になると園内のあちこちで雑草が伸びてきます。枯葉やゴミなどの清掃とあわせ、除草を毎日行います。



園路の清掃・整備

兼六園の園路はほとんど豆砂利道です。歩き易いように平らにならしたり掃除をしたりします。



曲水の清掃

流れの緩い曲水では、藻が発生したり土砂が溜まったりして汚れます。川底に敷かれた玉石には藻が付くので、週に1、2回清掃を行います。



用水の管理

兼六園の水は辰巳用水です。いつもきれいな水が流れるように、取水口の清掃をしたり流量の点検や水門の管理を行ったりします。



樹木の土壤改良

弱っている樹木を助けるために土壤改良を行います。



雪吊り

園内の大切な樹木（特に松の木）が雪の重みで枝が折れることのないように、雪吊りを行います。毎年11月1日に唐崎松から始めます。雪吊りには、リンゴ吊りや幹吊り他のいろいろな方法があり、約800カ所に施されます。



台風（強風）や降雪時の対応

台風が来ると枝折れや倒木の可能性があり、園内を巡回し安全を確保します。また雪が降ると、園路を除雪したり、雪の重みで枝が折れないように雪払いを行ったりします。



樹木や苔、芝への散水

雨が降らない日が続く時期には、樹木や苔、芝生がか枯れないように、開園前や閉園後に水やりを行います。



園内施設の補修・修繕

園内にあるトイレや説明板、支柱、竹垣、木橋、護岸、園路等の補修や修繕を行います。

兼六園おさらいクイズ

『特別名勝兼六園 こどもガイドブック』を読んで、兼六園の魅力がいっぱい発見できましたか。では最後に、おさらいクイズに挑戦してみてください。答は50頁にあります。

- (1) 兼六園の広さは東京ドームの何倍でしょう?
① 3倍 ② 4倍 ③ 2.5倍 ④ 3.5倍
- (2) 兼六園の六勝は、宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉ともう一つ何でしょう?
① 風情 ② 清淨 ③ 永遠 ④ 眺望
- (3) 兼六園に豊富な水を供給している用水は何用水でしょう?
① 玉川用水 ② 辰巳用水 ③ 大野庄用水 ④ 鞍月用水
- (4) 兼六園の池の中で一番面積の大きな池は何池でしょう?
① 長谷池 ② 瓢池 ③ 霞ヶ池 ④ 猿沢池
- (5) 兼六園菊桜は八重の桜です。一つの花の花びらは約何枚でしょう?
① 100枚 ② 200枚 ③ 300枚 ④ 400枚
- (6) 四季折々の風情を楽しめる擬宝珠つき欄干のある木橋は何橋というでしょう?
① 花見橋 ② 月見橋 ③ 雪見橋 ④ 黄門橋
- (7) 13代藩主が母真龍院の隠居所として造った建物をなんというでしょう?
① 夕顔亭 ② 成巽閣 ③ 尊経閣 ④ 時雨亭
- (8) 霞ヶ池の畔にあり、毎年11月1日に雪吊りが開始される名木はなんというでしょう?
① 根上松 ② ひねくれ松 ③ 手向松 ④ 唐崎松
- (9) 5代藩主が金沢城に面した傾斜地に作った庭は何庭というでしょう?
① 玉泉院丸庭園 ② 竹沢庭 ③ 蓮池庭 ④ 飛鶴庭
- (10) 金沢の地名の由来となり、百万石まつりの初日に金沢神社の宮司によって「お水取り」の儀式が行われる場所はどこでしょう?
① 翠滝 ② 曲水 ③ 洞窟 ④ 金城靈沢

どうでしたか？ みんなで問題を出し合ったりして、兼六園に親しんでくださいね。

特別名勝 兼六園 こどもガイドブック

～ 兼六園なんでも博士になろう ～

発 行 平成30年2月1日

発行者 金沢城・兼六園研究会
〒920-0963 金沢市兼六町1-4

協 力 石川県金沢城・兼六園管理事務所

印 刷 社会福祉法人 石川サニーメイト
サニーメイト福祉工場
〒921-0294 石川県野々市市末松2-239

兼六園 こどもガイドブック 編集委員会（金沢城・兼六園研究会）

委員長 安立 利光

副委員長 中田 廉子

編集委員 木下 幸子 越野 洋 小川 敏

片岸 恵治 成瀬 定俊 笠間 芙美子

写真協力 今城 哲二

イラスト 新野 落恵